

5月の天候

2021年（令和3年）5月の日本の天候は、気温は、沖縄・奄美で記録的に高くなりました。降水量は西日本でかなり多く、日照時間は北・東日本日本海側でかなり少なくなりました。

2021年（令和3年）5月の天候の特徴は以下のとおりです。なお、今回の資料から、1991～2020年の統計による新しい平年値を使用しています。

○気温は、沖縄・奄美で記録的に高くなりました

平年に比べ梅雨前線が早く北上し、南から暖かい空気が流れ込むとともに、太平洋高気圧に覆われ日照時間が多かった沖縄・奄美では気温がかなり高く、1946年の統計開始以来5月として最も高い記録を更新しました。

○降水量は西日本でかなり多く、日照時間は北・東日本日本海側でかなり少なくなりました

中旬を中心に本州付近に停滞した活発な梅雨前線の影響などで、降水量は西日本でかなり多く、日照時間は北・東日本日本海側でかなり少なくなりました。一方、太平洋高気圧に覆われることが多かった沖縄・奄美では降水量が少なく、日照時間が多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:587KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202105_besshi.pdf

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）
電話 03-6758-3900（内線 4268） FAX 03-3434-9035
大気海洋部 気候情報課 担当 竹川（天候の解説について）
電話 03-6758-3900（内線 4547） FAX 03-3434-9123